

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公

公表：令和3年3月23日

事業所名：スパーク京都左京店

保護者等数（児童数）：50 回収数：27 割合：54%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	8			部屋が狭いので人数は二人までで一人は外など工夫が思う。	お客様の体格や組み合わせ、療育内容等を考慮し、屋外での療育を含め、お客様の安全を徹底させて頂きます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	5				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	5	2		スロープ手すりはないが、床がフラットで一定の配慮はされているように思う。	どのようなお子様にも快適に過ごしてもらえるように環境を整えていきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	25	2			微細運動の作業をもっと取り入れてほしい。	意向確認時の面談において、保護者様のご意向をしっかりと確認していきます。また、より個人に合わせた計画を作成出来る様にし、その中でスパーク運動療育としてのアプローチを提供していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	21	4	1			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	9	14	1	交流の機会がある事を知らない。不要だと思う。	現在はそのような活動は行っておりませんが、保護者様からの依頼があれば積極的に機会を作らせて頂きます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26	1				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	5	1	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	10	14		保護者同士の連携（父母の会、保護者会）がある事を知らない。不要だと思う。	現在はそのような活動は行っておりませんが、保護者様からの依頼があれば積極的に機会を作らせて頂きます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	3	2	1	野外療育に対してクレームがあり、なくなったが、希望者のみ続行してほしい。 子どもが怪我をしたが、職員は見ておらず、謝罪するだけだった。謝るだけ。	クレームに対しては対応方法やその理由等の周知を徹底し、ご理解が得られる様に説明を行わせて頂きます。 怪我に関しては今後は見落としがない様に気を配り、さらに保護者様への情報共有を綿密に行い、真摯に対応して参ります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1	2			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	5	3		メールでの連絡はあるが、自己評価の結果等の内容ではない。	SNSを中心としておりますので、事業所内に掲示することにより多くのご利用者様に活動内容等を知って頂けるようにしていきます。 自己評価については事業所内の掲示板も用いて、より多くの利用者様に知って頂けるようにしていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	24	3			分からない。	契約時の説明の際に日常的に行っている対応策等もお伝えし、よりご理解して頂ける様に努めています。	

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	7	2		改めてマニュアルの存在をお知らせし、訓練につきましては広報活動の一環としてSNSや事業所内での告知を行い、利用者様により安心して通っていただける様にしていきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	12	4	1	分からない。 訓練をしている事を知らない。 職員のみで行っていた為、今後は利用時間内に訓練を実施する事を検討しています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	27				引き続きお子様を楽しみに通っていただける場所を目指して自己研鑽を行って参ります。
	18	事業所の支援に満足しているか	24	3			子どもの特性を理解している専門家として保護者に積極的にアドバイスがあると有難い。(ペアレントトレーニング等) 幅広い相談に応え、支援出来る様に専門性を高め、より親身に支援できる様に寄り添って参ります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。